

令和8年度 修繕仕様書

修繕名 トラックスケール設備修繕

修繕箇所 荒川水循環センター(戸田市笹目地内)

修繕期間: 契約日～令和9年2月26日
修繕内容: 本修繕は、荒川水循環センターに設置されているトラックスケール設備のデータ処理装置等の更新及び更新に伴う検定受検一式。

対象機器: 対象計量器:MLCー3F型トラックスケール
ひょう量:30,000kg
目量:10kg
載台寸法:3×10.5m
器物番号:RR15ー3388ー0

修繕大要

本修繕費内訳書

[illegible]

機器費明細書					
種 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
データプロセッサ		1			
	台				
3.5インチスプロケット式伝票プリンタ		1			
	台				
卓上ICカードリーダ		1			
	台				
操作ターミナル		1			
	台				
ロードセル		4			
	台				
計					

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

特記仕様書

トラックスケール設備修繕

令和 8 年度

公益財団法人埼玉県下水道公社

目 次

第 1 章 共通

第 2 章 対象機器

第 3 章 修繕内容

第 4 章 検定受検内容詳細

別表 交換機器部品等一覧表

図面一覧表

第 1 章

共 通

1 適用範囲

この特記仕様書は、本修繕に適用し、公益財団法人埼玉県下水道公社修繕標準仕様書を補足する必要な事項を定めるものとする。

2 概 要

本修繕は、荒川水循環センターに設置されているトラックスケール設備を長期にわたり円滑に稼働させるため実施する。

3 適用規格

次の諸規定を遵守すること。

なお、規定は本修繕契約時における最新版を使用する。

- ・ J I S
- ・ J E C、J E M
- ・ 電気設備技術基準
- ・ 機械設備工事一般仕様書（日本下水道事業団編著）
- ・ 電気設備工事一般仕様書・同標準図（日本下水道事業団編著）
- ・ 機械設備工事必携（日本下水道事業団編著）
- ・ 電気設備工事必携（日本下水道事業団編著）
- ・ 機械設備工事特記仕様書（日本下水道事業団編著）
- ・ 電気設備工事特記仕様書（日本下水道事業団編著）
- ・ 機械設備標準仕様書（日本下水道事業団編著）
- ・ 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（国交省大臣官房官庁営繕部監修）
- ・ 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（国交省大臣官房官庁営繕部監修）
- ・ 埼玉県機械設備工事特別共通仕様書
- ・ 埼玉県電気設備工事特別共通仕様書
- ・ 埼玉県建築工事実務要覧
- ・ 埼玉県土木工事共通仕様書

4 対象機器

対象機器は、第 2 章のとおりとする。

5 修繕内容

本修繕内容は、第 3 章のとおりとする。

6 注意事項及び条件

注意事項及び条件は次の事項のとおりとする。

- ・ 据付作業は正確に行い、長期の使用に十分耐えられるものとする。
- ・ 施工に電動工具を使用する場合は、保護装置を介して施設の運転に影響を及ぼさないようにすること。
- ・ 設備停止及び部分停電を必要とする場合は、予め監督員と打合せを行い、停止時間及び停電時間の短縮に努めること。
- ・ 施工前または施工後に行う C/C 盤等の電源遮断や電源投入は監督員、現場代理人等の立会いの下で行い、施工中であることを表示すること。

- ・受注者が電源を用意して使用する場合は、電気主任技術者の承諾を受けること。移動型自家用発電機（10kW 以上）を使用する場合は、経済産業省に届け出すること。
- ・枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」（厚生労働省）によるものとし、足場の組立てについての種類、機材性能、使用方法等については「手すり先行工法による足場設置基準」によるものとする。
- ・石綿（アスベスト）の恐れのある場所は確認を実施し、必要に応じて対策を行うこと。
- ・高所及び地下における作業は、転落に十分注意し、必要な安全対策を講じること。
- ・作業中に異常があった場合は、直ちに作業を中断し監督員に連絡すること。
- ・有害ガスの飛散その他事故が発生した場合は、直ちに監督員に連絡するとともに必要な応急処置を行うこと。
- ・万が一事故が発生した場合に備え、緊急連絡体制を整えておくこと。
- ・危険な作業範囲内には、立ち入らぬよう標識・バリケード等を設置し、吊り荷重の確認を行い、作業に見合った適切なクレーン車等を用いて実施すること。
- ・施工にあたり発生する現場発生品は、受注者が適正に処分すること。

7 負担区分

施工にあたり、次に掲げるもの以外の消耗品等は受注者の負担とする。ただし、使用については取扱いに十分注意し、監督員の指示に従うものとする。

- ・用水
- ・試験用電源（AC100V-15A 以下に限る）
ただし、停電時、停電作業時等で発注者が電力を供給できない場合は、受注者が発電機等を用意して実施すること。
- ・既設照明設備
- ・その他、監督員が認めたもの

8 建設副産物情報交換システム（COBRIS）への入力等について

受注者は、建設副産物の処分等に関し、建設副産物情報交換システム（COBRIS）を用いて本修繕完了後に再生資源利用（促進）実施書を作成し、監督員に提出すること。

9 下水道施設台帳システムに係る電子データの提出

本修繕の結果について、公社が指定する様式（電子データ）に情報を整理し、電子データを提出する。

なお、詳細については、監督員と協議を行うものとする。

10 環境配慮への取組

環境負荷の低減や汚染・事故防止、環境管理体制の確立を図るとともに、地域・住民への信頼性の向上を図ることを目的とし、公益財団法人埼玉県下水道公社が行う環境に配慮した活動に積極的に参加すること。

11 成果品の電子納品について

受注者は、公益財団法人埼玉県下水道公社修繕標準仕様書の提出書類一覧表に定める報告書、写真、完成図書を電子データ（PDF 形式）で提出すること。また、電子データで提出した場合は、紙面での提出は不要とする。

12 その他

本修繕に関連する作業について、発注者が調整し、受注者はこの関連作業について円滑施工に協力すること。

第2章 対象機器

トラックスケール 1台

型 式	M L C－3 F 型
ひょう量	3 0, 0 0 0 k g
目 量	1 0 k g
載台寸法	3 × 1 0 . 5 m
器物番号	R R 1 5－3 3 8 8－0
製 造 者	株クボタ

第3章 修繕内容

- (1) 現場養生等作業前準備
- (2) 別表（交換機器部品等一覧表）に掲げる部品類の交換
- (3) 組立補修塗装
- (4) 発生材の法的適正処分一式
- (5) 試運転調整一式
- (6) 清掃及び片付け作業

第4章 検定受検内容詳細

計量法第19条に規定される定期検査の受検前に、必要な整備及び点検を実施する。

各部の点検内容

ア 秤量機本体

- (1) 清掃
- (2) 振れ止め点検
- (3) ロードセルグリスアップ
- (4) 目視点検
- (5) ロードセル部点検

イ 重量指示計

- (1) 清掃
- (2) 指示機能チェック
- (3) 指示値確認

ウ 現場装置盤

(カードリーダー)

- (1) 清掃
- (2) 読み取り機能チェック
- (3) プリンター機能チェック
- (4) インクリボン点検

エ データ処理装置

(電源ボックス含む)

- (1) 清掃
- (2) 出力機能チェック
- (3) 電源ボックス電圧値確認
- (4) 接地抵抗測定

オ トラックスケール設備(荷重試験)

別表(交換機器部品等一覧表)に掲げる部品の交換作業及び操作試験・各機器点検の後、分銅等をひょう量30tを載せ、器差及び設備全体の動作を見ること。器差検査については、特定計量器検定検査規則に基づいて行い検定交差の2倍未満とする。

- (1) 点検整備及び検査用分銅の搬入、搬出
- (2) 定期検査の受検
- (3) 積載部の塗装(フェノール塗装4種ケレン 1回塗り)
- (4) その他、監督員から指示のあった事項

交換機器部品等一覧表

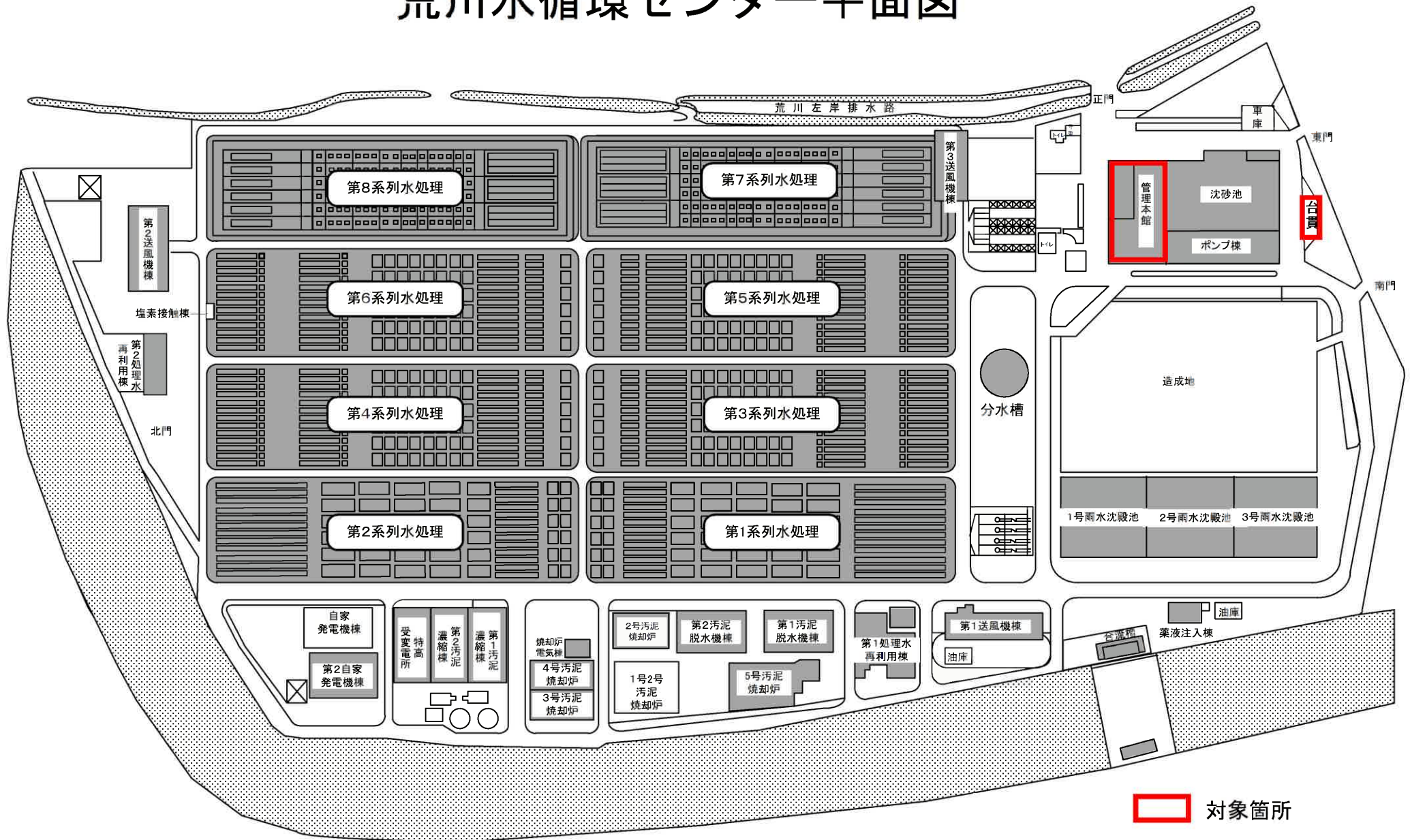
設備名	品 名	参 考 型 式	数量	単位	備 考
トラックスケール	データプロセッサ	SP-600-A KS-C210TS指示計収納	1	台	機器
	伝票プリンタ	MPT-130S 3.5インチスプロケット式	1	台	〃
	卓上 I Cカードリーダー		1	台	〃
	操作ターミナル	CU-550IC-130S	1	台	〃
	ロードセル	CC1-H-25T-C3 上下負荷金具、ケーブル付	4	台	〃
	ジャンクションボックス	DJ-ST-6	1	個	材料

※トラックスケール載台、操作ターミナル用スタンド、I Cカード、計量伝票、各ケーブルは既設を流用するものとする。

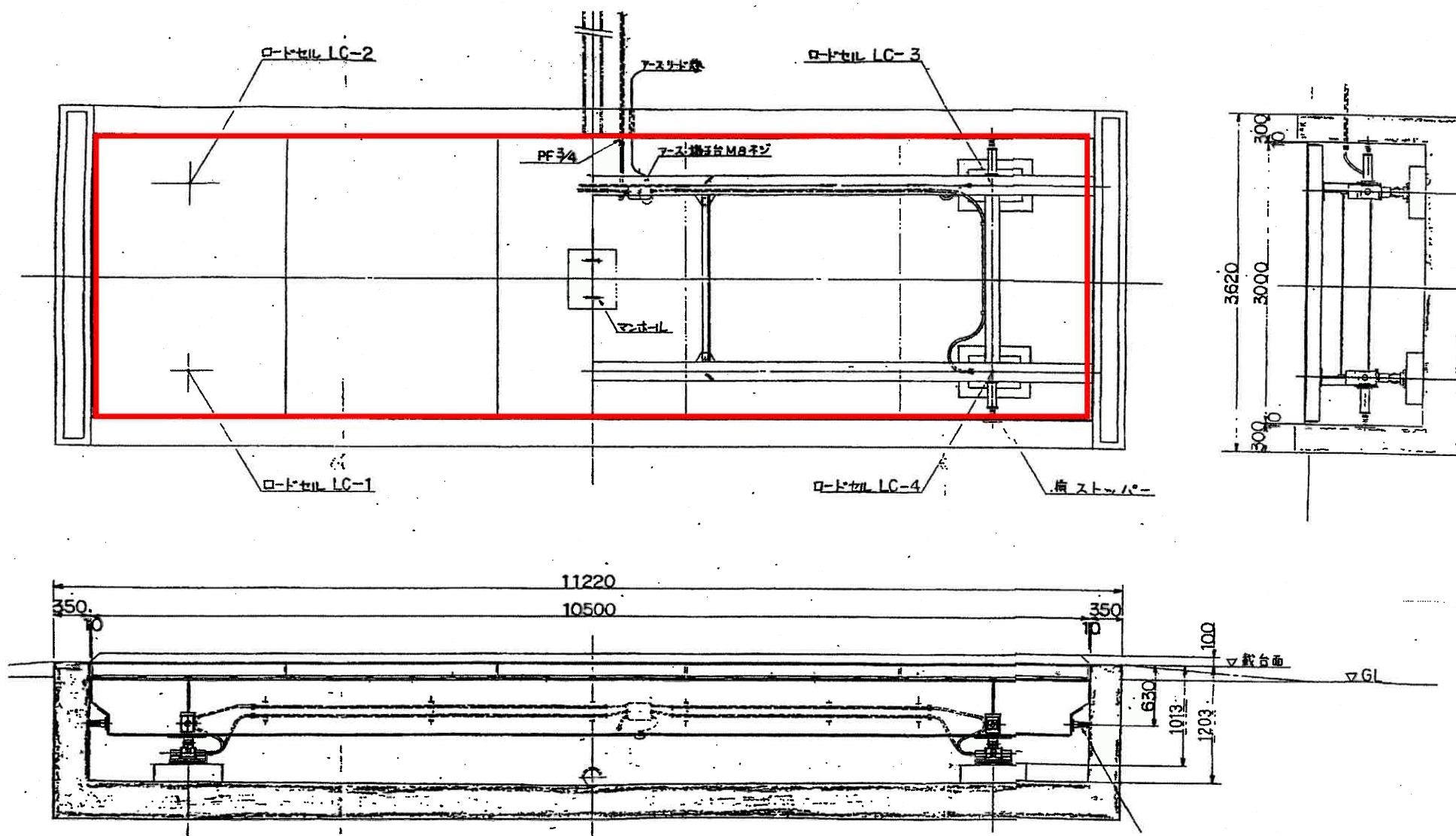
図面一覧表

図番	図面名
1	荒川水循環センター平面図
2	計装ブロック図（取替え箇所）
3	トラックスケール載台構造図
4	トラックスケール指示部
5	ロードセル外形図
6	操作ターミナル外形図

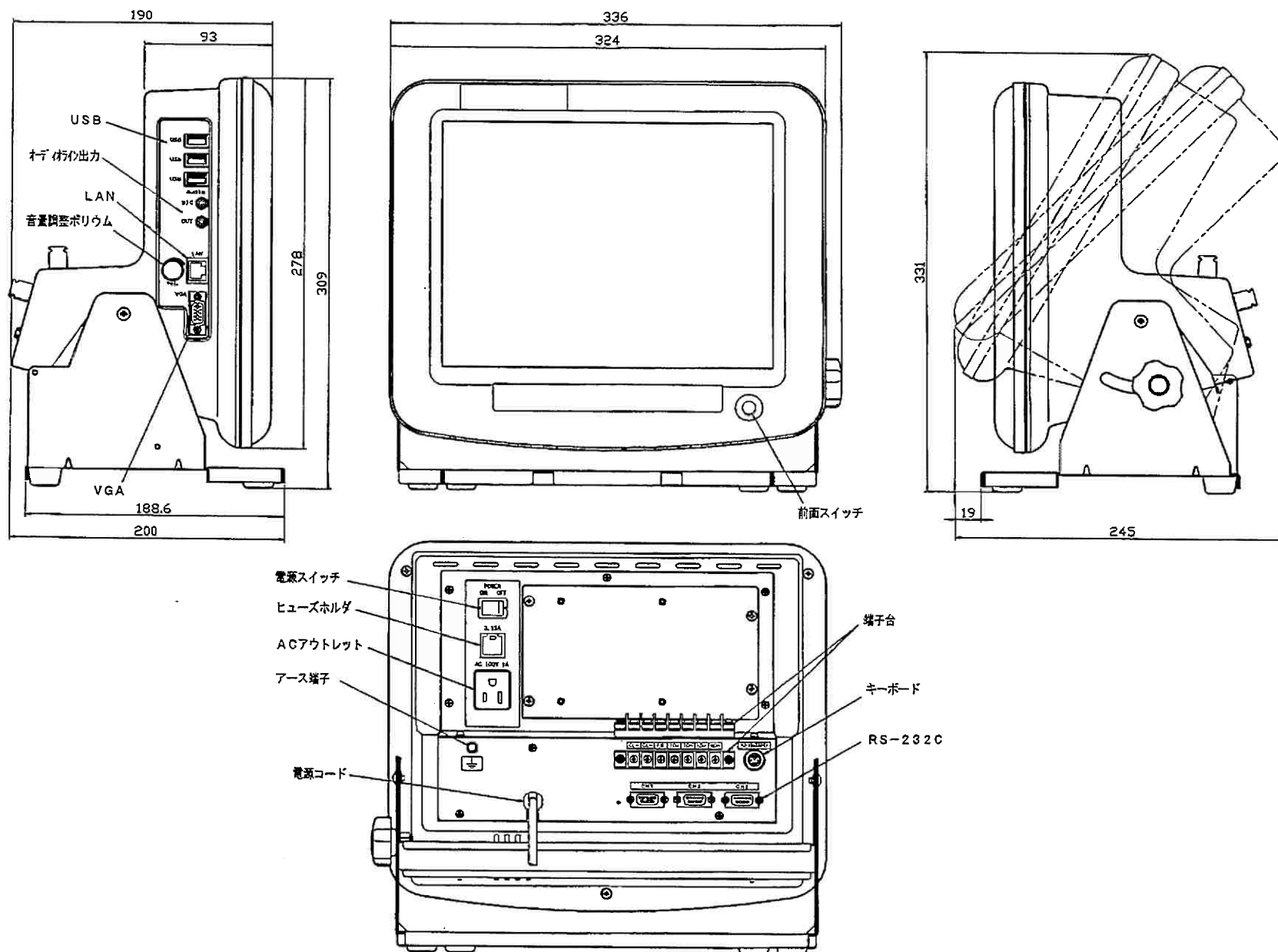
荒川水循環センター平面図



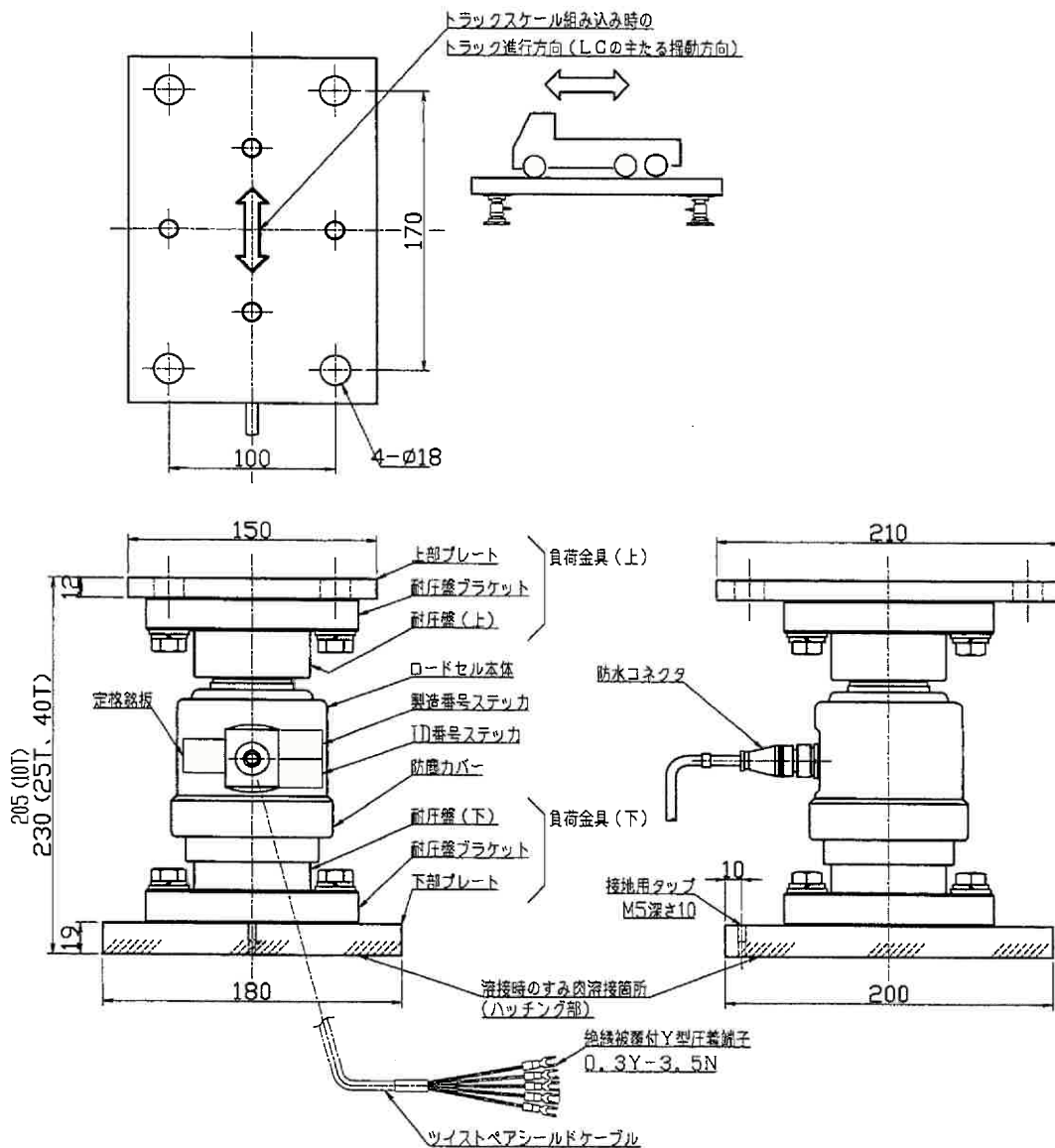
図番	図面名
1	荒川水循環センター平面図



図番	図面名
3	トラックスケール載台構造図



図番	図面名
4	トラックスケール指示部



主仕様

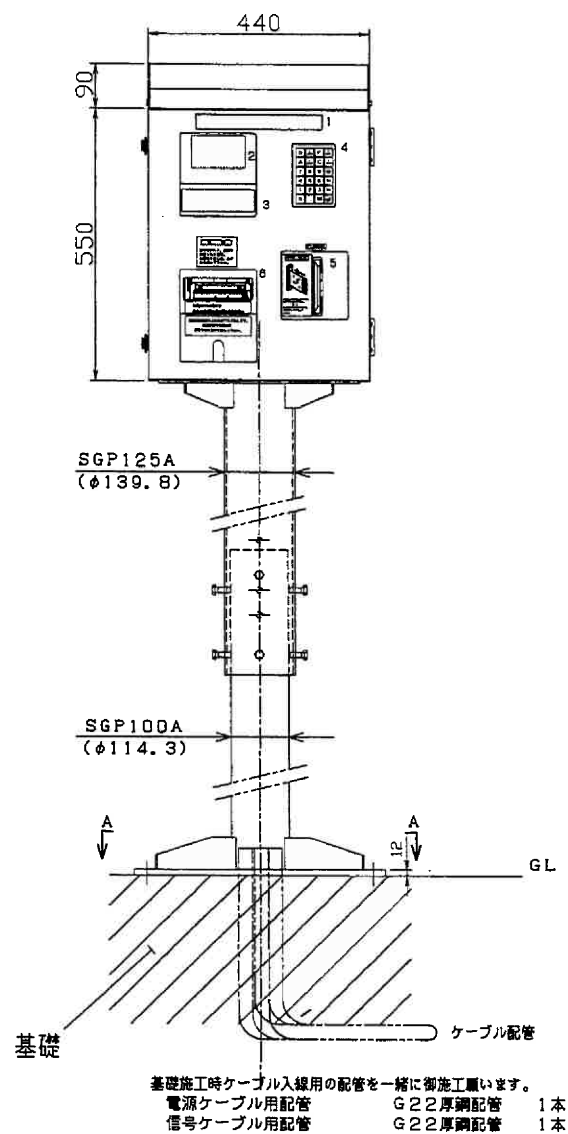
NO	項目	仕様
1	ロードセルユニット型式	LU-AD-10T LU-AD-25T LU-AD-40T
2	ロードセル型式	CC1-H-10T CC1-H-25T CC1-H-40T
3	最大容量 (E _{max})	(t) 10 25 40
4	定格出力 (G _n)	(カウント) 600, 000±300
5	組合せ誤差	(%G _n) ±0.0125 (直線性、ヒステリシスを含む)
6	温度補償範囲	(℃) -10~+40
7	動作温度範囲	(℃) -30~+70
8	許容過負荷	(%E _{max}) 150
9	限界過負荷	(%E _{max}) 200
10	防塵防水性能	IP68相当 (試験条件: 1m水深 100時間)
11	材質	起亜体: 特殊鋼 本体部カバー: ステンレス 上下耐圧盤: 特殊鋼 耐圧盤ブラケット、上下プレート: SS400相当品
12	信号処理回路の電サージ対策	雷サージキラー 標準装備
13	製品質量	(kg) 約17
14	防錆仕様	ロードセル本体 (外部露出部): ポリウレタン塗装 (下塗り1回/上塗り1回) 色相…クボタブルー (艶有り) 耐圧盤、耐圧盤ブラケット、プレート: Ep-Fe/Zn5/CMS (3倍加メー処理)
15	ケーブル配線色	電源 (+V): 赤 信号出力 (+D): 緑 シールド (FG): 黒 グランド (SG): 黄 信号出力 (-D): 青

図番

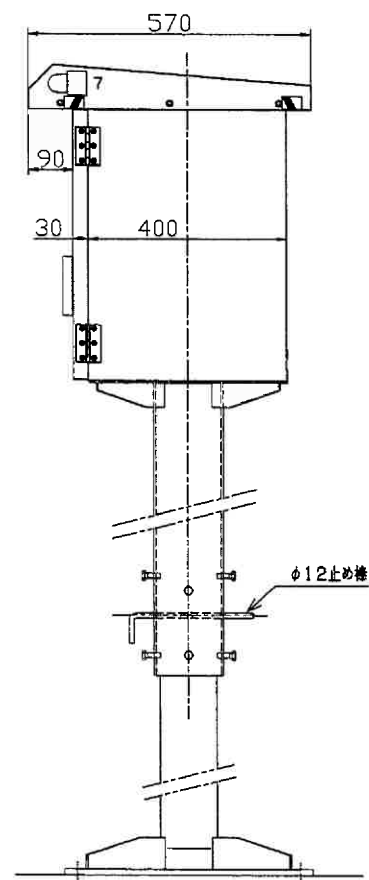
5

図面名

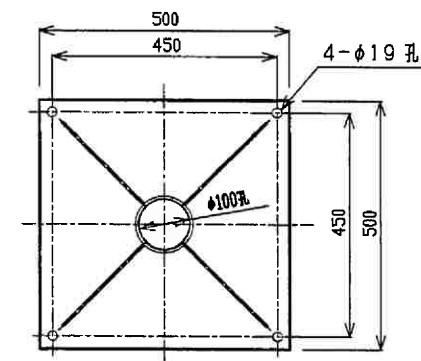
ロードセル外形図



上記配管を推奨します。



構造	屋外	防雨構造
材質、板厚	SPCC	本体 1.0t 扉 1.0t
塗装	内面 マンセル 5Y 7/1	手ツヤ
外面	マンセル 5Y 7/1	
色	base マンセル 5Y 7/1	
塗装	下塗り エポキシ系プライマ塗付塗装(1回)	上塗り カンペ塗付アミラックNo.400塗装(1回)
付属品	付属 オールアングラC-1615 4本	
ハンドル	無し(パッチング錠)	取付錠1ヶ付
重量	約	50kg
製作数		1面



A-A矢視

No	品名	型番	数量	メーカー	備考
1	基板板	アクリル250Wx30Hx2t	1		操作ターミナル
2	操作説明シール		1	フボタ	
3	LCD表示器	ILM-2464	1	インテグラル	
4	シートキー	FKB3015-051 (PS-10PE30ヶ付)	1	富士通	
5	パンチカードリーダー	PC-R1	1	パナソニック	
6	伝真プリンタ	MSP-111S (35インチ付)	1	ナダ電子	
7	蛍光灯	FT-100 10W 50Hz	1	オリオン	

図番

6

図面名

操作ターミナル外形図